

【市政懇談会 質疑応答】 星鶴荘（平成 25 年 8 月 25 日（日） 18 : 30）

【参加者 A】

高齢化や町内会の加入率の低下等により、町内会役員のなり手がいなくなっています。町内会の加入が進まないのは町内会に入ってもメリットがない、という要素が大きいと思う。町内会加入者は市民税を安くするとか思い切った方法をとって町内会への加入促進を図ってはどうかでしょうか。

あわせて地域の道路について伺いたい。星が浦 4 丁目に星が浦北通と西港に向かう星が浦西通との T 字路がある。トレーラー等の大型車両がよく利用する道路であるが、信号機が無いため歩行者等にとっては非常に危険性が高い。近くの星竜橋も今年度改修されると聞いているが、今後も大型車両の重量に耐えられるかどうか分からない。信号機の設置時期等も含めて、この道路の今後の整備計画を伺いたい。

【都市整備部長】

星が浦西通を拡幅しましたので、大型トラックやトレーラー等の大型車両が外環状道路に向けて当該道路を利用しているという状況にあります。

星が浦北通は片側 2 車線の計画がありますが（現在 1 車線）、用地買収等もあって計画どおり進めることは、現実的には難しい状況にあります。ただ、大型車両の通行に伴い、道路の凸凹がひどくなっていることから、市では星が浦川のところから旧釧路西高校までの部分と外環状道路に乗り入れる部分、約 1,300m をオーバーレイ工法（表層面を換える道路工事）により修復する予定です。

現在、都市計画道路の見直しを行っているところであり、道路を拡幅するのは難しい状況にありますことをご理解ください。

【参加者 B】

道路が整備されたことで、大型車両が鶴野小学校の通学路を頻繁に通行することになった。調べてみたところ、朝 5 時から 6 時の間で 100 台程度の交通量があった。

【市長】

釧路市の都市計画道路の中で、都市計画決定がされているのにもかかわらず、30 年近く経っても手つかずの状態にある未整備路線が 46 路線あります。

本来、計画をつくるときには、例えば、1 年間にどれ位整備ができるかといったことを考え、それに合わせて計画をつくっていかねばならないと思います。

現在、市では、北海道が実施した各種調査の結果もあわせながら、都市計画道路の見直しを進めています。この見直しにつきましては、防災や減災、津波

避難といったことを踏まえつつ、どう見直しを進めていくかも含めて、皆さんにきちんと説明していきたいと思っています。

【参加者 A】

地域住民にとっては避難道路としても非常に重要な道路です。

【市長】

国では、北海道が平成 24 年 6 月に発表した津波シミュレーション（北海道太平洋沿岸に係る津波浸水予測図）を認めていないのか、平成 25 年に、日本海溝・千島海溝周辺の新しいシミュレーションの作業を始めると言っています。

国には国の防災に関するさまざまなことを検討する中央防災会議があります。この中央防災会議が、この地域に影響のある日本海溝・千島海溝周辺の津波シミュレーションを発表したのが平成 17 年で、この津波シミュレーションを策定するにあたって要因とした地震が 500 年間隔地震です。これが今までの釧路市のハザードマップのベースになっていました。

その後、平成 23 年に東日本大震災が起これ、巨大な津波が発生しました。そのため、中央防災会議では、想定外は作らないということで、発生頻度の高い南海トラフと首都直下型、この 2 つの地震を想定した津波シミュレーションを行い発表しました。それに対して、北海道庁では、東日本大震災の際に、釧路や函館で津波が発生したことを踏まえて、道民の命を守るため北海道単独で津波シミュレーションを行ったのです。

国の日本海溝・千島海溝周辺の津波シミュレーションは、今後、学識経験者等によって議論されますことから、発表されるまで 2 年弱はかかると思います。平成 26 年度には発表されると思いますが、この日本海溝・千島海溝周辺の津波シミュレーションの内容によって、釧路市の防災や減災事業が影響を受けます。と言いますのも、例えば、防潮堤の高さをどの位にするのか、といったことも国のシミュレーションを根拠に対応を図るようになると思います。

国では北海道がつくった津波シミュレーションを、国の津波シミュレーションとして位置付けていませんので、現在、北海道の津波シミュレーションに対するさまざまな対応を見合わせている状況にあります。ただし、そうは言いますが、市はさまざまな点において、いわゆる現場の自治体ですので、いろいろな事を考えながら進めていこうと思っています。いただいたご意見につきましても、現実的にどうするかもあわせて考えていきたいと思っています。実際の事業を行うためには、国の補助制度を活用しながら実施していくことが重要になってきますので、もう少し議論していきたいと思っています。

また、都市計画道路の見直しに関する説明会については大楽毛地区で行う予定です。ご意見につきましては、見直しにあたって生かしていきたいと考えておりますので、ぜひご参加いただければと思います。

【参加者B】

鶴野小学校の通学路の交通量の実態を調査していただければと思います。

【市長】

職員には「予算が無いから出来ない」ということは理由にはならないと言っています。私としては、市役所は市民生活を守るための現場ですから、必要なことは他の事業を止めてもやらなければならないと思っています。

【参加者C】

市で取り組んでいる長期滞在事業について伺います。先日、知り合った何組かの長期滞在中の夫婦から、釧路市に長く滞在したいが居ても何もすることが無いので早く帰ってしまうとの話を聞きました。市でも長期滞在者が参加できるようなイベント等のソフト面を考えていただけると、滞在日数が延びていくのではないかと思う。

【市長】

釧路市に長期滞在したいが滞在施設がないため滞在できない、といったハード不足の課題につきましては、さまざまな方法を検討しているところです。一方、避暑で訪れて釧路市のことを気に入った方の中には、ご自分の長期滞在用の物件として、マンションや一軒家を購入された方もおります。そうした方は釧路市が把握しているだけで、去年までの実績で15人おります。

今年も滞在施設の確保が難しいという話を聞いていますが、滞在施設を担当する民間企業にとっては夏の需要のためだけに新たに部屋を用意する等の設備投資を行うのはなかなか難しい状況にあります。そのため市では、滞在施設の拡大に向け民間企業の設備投資を促すために、釧路ではスギ・ヒノキの花粉がゼロという利点を生かし「花粉0の快適空間」をキャッチフレーズにした冬季の長期滞在をPRし誘客を図っているところです。夏だけではなく冬の長期滞在者も増えると、地域で使われるお金が増えることにつながりますから、民間企業の設備投資に回す資金も増え、長期滞在者用の物件が増えていくことになるのです。

市でも長期滞在者との交流を担当する課がありますし、アンケートもとっていますので、ご意見のありましたソフト面につきましては、充実していくようにしっかり進めていきたいと思っています。そうした意味では、今年はいくしろ港まつりの市民踊りパレードや盆踊りに長期滞在者の方々が会をつくってチームとして参加した他、地域イベントに関する情報が掲載されている広報いくしろが長期滞在者の方にも届くようにしています。ご意見のありましたように、快適に釧路市で過ごせるようにしていくことは重要だと思っています。

【参加者C】

星が浦大通5丁目の「のあらし橋」近くに設置している星が浦川の河川名表示看板の「が」の字が片仮名のガになっています。正しくは平仮名の「が」だと思う。表示看板を担当しているのは北海道庁だと思うが、3年前から話をしているが一向に替えないので、改めて市に話をさせてもらった。

【都市整備部長】

星が浦川は北海道が管理している河川ですので、道庁釧路建設管理部の担当課に正しく表記していただくよう伝えたいと思います。

【参加者D】

4年前に星が浦老人福祉センターの風呂場を改修していただき、それが現在、サークル活動の部屋として利用できるようになりました。以前よりも大変使いやすくなりました。皆喜んでおりますことを、ご報告させていただきます。

私からは除雪対策について要望いたします。鶴野小学校通りは除雪車が入りますが、他の通りは除雪が行われていません。せめて1回程度は除雪をしていただきたいと思います。地域住民で除雪を行っています。高齢化の状況もありますことから、大きな道路だけではなく、1回位は住宅街の道路も除雪していただければ、地域住民の皆さんも助かるのではないかと思います。

あわせてですが、曲がり角の角地に除雪した雪が山盛りになっています。そうすると車で通る際に見通しがきかず非常に危険です。交通安全のためにも山盛りにしないように除雪業者に言ってほしいと思います。

最後に災害対策に関してです。現在、鶴野小学校が避難施設になっていますが、鶴野・星が浦地区は平坦地でもありますので、鶴野小学校以外に避難施設はあるのでしょうか。

【都市整備部長】

まず、除雪に関してお答えします。基本的には除雪車が通行できる道路幅があれば除雪車は入りますが、除雪車が出動するための基準を設けておまして、10 cmあるいは15 cm程度の降雪の場合に幹線道路等を除雪することとしています。これ以下の場合は、お話のあった支線の除雪は行わないということになります。20 cmの降雪になりますと各路線の除雪を行います。

排雪に関しましては、今は空き地があまり無いため、雪の置き場に困っておりまして、交差点の片側部分に置かざるを得ないという状況にあります。なるべく交通の支障にならないように対応していきたいと思っております。

町内会の皆さんとは年2回、地区除雪連絡協議会で意見交換する場を設けております。地域の皆さんと協力していきながら除雪態勢をつくっていききたいと思っておりますのでご理解の程、お願いいたします。

【総務部長】

鶴野小学校は津波緊急避難施設と位置付けていますが、この他に津波避難ビルとして、サンエス電気通信㈱、マルセンクリーニング本社工場を指定しています。今回新たに津波避難ビルを指定しており、8月から各世帯に配布しています津波ハザードマップに情報として掲載していますので、ご確認いただければと思います。

【参加者E】

除雪についてお聞きします。他の街の人によると釧路市の除雪はあまり上手ではないとのことですが、星が浦地区では10cm程度の降雪でも、除雪しなかった場合、雪が解けてツルツルの氷路面になってしまいます。高齢者だと足元に不安がありますので、怪我をしてしまう可能性があります。

【都市整備部長】

道路面ぎりぎりでは除雪を行うとマンホールを引っ掛けてしまうということもあります。雪が残っていると解けてツルツル路面になるとのご指摘でありましたが、市では散布機という砂を散布する機械の貸し出しも行っていますので、町内会の皆さんでお使いいただいて、ツルツル路面の解消に向けてご協力いただければと思います。除雪態勢としましては市内6ブロックに分けて対応をしているところでありますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

【市長】

道路について説明しますと、道路の舗装には恒久舗装と簡易舗装があります。釧路市では冬季凍ってしまうため、簡易舗装の場合、1年程度でだめになってしまい路面が凸凹になります。そうした道路をグレーダーで除雪すると、高い凸部分に合わせると凹部分に雪が残ってしまい、逆に凹にあわせて下げるとマンホールに引っかかるということになります。

こうした悪循環を解消するために、市では準恒久舗装として路面下50cmで改良工事を行う工法により生活道路を整備することとし、対象とする路線については、地区連合町内会の意見を聞きながら選定する方法をとっています。

市道の約4割が簡易舗装の道路ですので、順次、準恒久舗装の道路に変えていきたいと考えています。なかなか要望には追い付いていませんが、こうした地域要望を踏まえた取り組みを進めていくことが重要だと考えています。

除雪につきましては、ツルツル路面といったことも想定されますことから、いろいろな手法を用いながら現実的な対応を図っていきたいと考えております。

【参加者F】

津波避難計画等住民説明会が開催されていますが、星が浦地区でも個別に説

明会等の対応は行ってもらえるのですか。

また、先日、公園の計画的な改築等に関する釧路市公園施設長寿命化計画素案の説明会に出席しましたが、市からの説明では、星が浦地区では、星が浦1号公園と星が浦中央公園の遊具は壊れたら直すが、それ以外の公園の遊具は壊れても修繕しないとのことでした。そうするとただの空き地になってしまう公園もあるのではないかと思う。私の町内には3つの公園があり、その内2つの公園の草刈りは、市で業者に委託しており、残り一つを老人クラブで草刈りしています。ただ老人クラブのメンバーも高齢化が進んで、だんだんその草刈作業もつらくなってきている現状にあります。業者の草刈りは年1回で、それも草が生い茂っている時に行っています。シルバー人材センターに草刈りを依頼すると低料金でやっていただけると思いますので、センターにお願いして、草刈りの回数を増やしていただければ公園利用者も喜ぶと思います。

【総務部長】

津波避難計画等に関する説明につきましては地区個別に対応いたしますので、ご連絡いただければと思います。

【市長】

都市計画上、街の大きさにあわせて、一定程度の面積の緑地を確保しなければならないということがありまして、市内には264箇所の公園があります。

公園を造る時は、国等からの補助金もあり、市単独の負担が少なくても良いのですが、維持管理費は市の単独費で対応しなければなりません。財政状況が厳しい現在、施設の維持管理を行うことが大変になってきています。

釧路市の場合、皆さんからいただいている税金は約200億円で、この他に地方交付税や借入金、国や道からの支出金を合わせ全部で約900億円規模の予算を組んでいます。市民の皆さんからいただいている約200億円の内、義務的経費が約150億円を占めていますので、市が政策的予算として使えるのは50億円弱です。義務的経費150億円の中で、庁舎や地区会館あるいはスポーツ施設などといった施設管理費に58億円かかっていますので、この管理費の見直しを現在行っているところです。

国では将来的に施設をどうするかを考え、計画を立てたものに対して、補助金を支出するという仕組みをとっています。そのため、市では、市内264箇所の公園をチェックした結果、66箇所の公園は今後も遊具施設は充実させていきますが、残りの約200箇所の公園については、今あるもので修理する必要があるものはしっかり修理し、修理できなくなったものについては近隣の方々とも相談しながら撤去していくような形で取り組んでいくことを話させていただいたところです。

遊具施設をどうしていくかは、子ども達の利用など、今後の出生数も踏まえた中で考えていくということもあるかと思いますが、一方で、公園利用につい

ては、地域の人々の健康づくりのために、例えば、踏み台健康法というものがありますので、この踏み台は地元木材を使って作れますから、そういったものを活用した高齢者の健康づくりの場所とする、そういったことも考えられるのではないかと思います。

【参加者G】

日々志別通りに新しく出来たニュータウンには町内会がありません。200戸以上の家があると思いますが、町内会が無いと、地域にゴミステーションがなく、個人ごとのごみ収集になっていると思います。住民の中には通勤の際に、私達のごみステーションにごみを置いていく人もいます。

また、除雪については、地区除雪連絡協議会で話したことに對して良い対応をしてもらっていますので感謝しています。

【市長】

町内会活動等で協力いただいている方がいる地域は、地域としても連携してまとまっています。一方、町内会が無いところは、地域内での連携が薄いように感じます。市では町内会等を通じて地域の方に情報を伝えることも行っていますが、町内会が無い地域ではそうした情報提供にも時間が掛かりますし、ご意見にありましたように、ごみの収集等の行政コストも掛かってしまうといったこともあります。地域内の連携も薄く、行政コストも掛かるという悪循環になりますので、市としても地域の皆さんで何か協力してもらいたいと思っています。

ただ、行政としては、町内会が組織されていないからと言って、その地域では何もやらないというはありません。先程もお話しましたとおり、地域で活動されている方が、一生懸命に活動されている間に、そうした地域の事例や取り組みを参考としていただくよう働きかけていく、といった対応等をしていかなければならないと思っています。そうしたことを言い続けるしかないと思っています。

公的な機関が本来、地域で対応しなければならないことまで対応するようになってしまうと、結果として地域のコミュニケーションを壊してしまう、といったこともあり得ると思います。公は公の役割、仕事をきちんとしなければなりません、公的なものには限界があるということも伝えることが必要だと思っています。これはさまざまな場面で話しています。町内会に入らなくても日常生活には困らないといった機運が高まることは、良くないことだと思っていますので、自助・共助・公助の役割の中で、共助の部分を上げていくような連携をしていかなければならないと思っています。今後とも町内会が無い地域にはさまざまなアプローチしていくことが大事だと思います。

【参加者G】

町内会の加入者が減っているのは、釧路市の場合、国や北海道等の出先機関の人や転勤者が多いので、こうした人たちが町内会に入っていないのではないかと思います。そのため、出先機関や民間企業のトップ等に町内会の話をしていくのは良い方法ではないかと思う。

【市長】

国や北海道等の出先機関の人の町内会の加入率は結構高いと思っています。特に教員の加入は100%近いのではないかと思います。私の町内会内に教員住宅がありますが全員が町内会に加入しています。しかしながら、民間企業となりますと、そこはなかなか難しいと感じています。

釧路市連合町内会の西村会長も各種出先機関に出向いて、町内会への加入活動をされています。市としても、さまざまな場面で加入に向けての声掛けをして機運を高めていきたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【参加者E】

星が浦会館のトイレの臭いがひどいのですが、改修予定はありますか。

【市民生活部長】

現場を確認したいと思います。

【市長】

本日は休日の日曜日のなか、また夜遅くまでありがとうございました。いただいたご意見につきましては、しっかり踏まえていきながら市政運営に生かしていきたいと思っています。あわせて、検討結果等につきましては皆様にご報告していきたいと思っています。

釧路市の財政は厳しい状況にありますが、地域課題については、一つ一つ、地域の皆さんとしっかりとお話していくことで、解決に向けた方法が見えてくるのではないかと思います。予算がないから出来ないといったことはないようにしていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。